



皆さんは、動物園に遊びに来た時に「なぜ?」「どうして?」と思ったことはありませんか?

「教えて!飼育員さん!」は、来園者の皆さんからの疑問に飼育員がお答えする企画です。

それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。

ペンネーム: おぎはらこ さん からの質問

サイのつのはなにでできてますか?

ご質問、ありがとうございます。

当園で飼育するクロサイは、おでこに2本の角が生えています。園内には他にも角を持つ動物が何種かいますが、今回はサイの角について解説をしていきます。

サイの角は2本で、シカのように角が落ちて毎年生え変わることはありません。では、この角は何でできているのでしょうか。角をよく見てみると、答えがわかるかもしれません。



正解は、毛。人間の髪や爪と同じ「ケラチン」という成分でできています。そのため、サイの角を近くで見ると、少し毛羽だってみえることがあります。サイの角は一生伸び続けますが、岩などにこすりつけて角研ぎをするので、形は個体によって様々です。



毛と同じ成分でできたサイの角ですが、強そうに見えるからか、一部の国では薬として効果があると信じられています。その結果、角を目的として多くのサイが殺されてしまい、現在、サイの仲間は全ての種類が絶滅の危機に瀕しています。一部の種は、すでに絶滅してしまいました。もちろん、サイの角に薬のような効果はありません。サイに興味を持って知ることが、サイを守ることもつながります。

ちなみに、園内には他にも頭に角が生えている動物がいますが、それぞれ角のつくりは異なります。例えばキリンは、頭の骨が盛り上がり、その上に皮膚がかぶさったつくりの角をしています。そのため、骨格標本になっても、角の位置がよくわかります。ヤギは、頭の骨が盛り上がり、その上にかたい鞘(さや)がついた作りです。骨格標本にすると、鞘が頭骨から外れます。どちらも角は生涯生え変わりません。ぜひ、それぞれの角を観察してみてください。